

スペイン

2022年12月5日
海外調査部・マドリード事務所

2021年のスペインの貿易は、新型コロナウイルス感染拡大後の世界的な景気回復やエネルギー高騰を反映し、輸出入ともに過去最高額となったが、自動車は半導体不足により低調だった。対内直接投資は再生可能エネルギー、通信分野が引き続き活発。対外直接投資はスペイン企業の事業再編による引き揚げが目立った。対日貿易は豚肉や乗用車の輸出増で赤字が縮小。日西間のエネルギー投資がさらに活発化した。

■輸出はワクチンやエネルギーが大幅増

2021年の貿易は、輸出が前年比20.1%増の3,166億900万ユーロ、輸入は23.8%増の3,427億8,700万ユーロと、いずれも過去最高額となった。これはエネルギー価格高騰による輸出入価格の上昇が大きく影響している。貿易赤字は261億7,800万ユーロで、前年の約2倍の赤字額となった。

輸出を品目別にみると、最大品目の資本財（自動車を除く）（構成比18.6%）が前年比12.8%増だった。うち産業用車両（2.2%）は、貨物自動車の好調により21.5%増、空調機器（0.7%）も20.3%増加した。一方、航空機（1.3%）は9.0%減と、軍用も含め前年に引き続き低迷した。食料品（18.0%）は、10.4%増。うち、主力の豚肉（1.7%）は2.7%減となった。背景として、近年輸出の4割前後を占めてきた中国向けが、同国でのアフリカ豚熱の収束による国内供給の回復で、金額、数量ともに大幅減となったことがあるが、他のアジア諸国向けの輸出拡大で一部相殺された。オリーブ油（1.0%）は価格高騰を背景に15.4%増と新型コロナ以前の水準を回復したが、数量では6.2%減少した。化学品（17.0%）は、31.6%の大幅増となった。新型コロナワクチンの輸出により医薬品（5.6%）が前年から4割近く伸びたことによる。中間財（11.2%）は、鉄鋼など資材の旺盛な需要回復と資源価格高騰により、34.1%増となった。鉱物・エネルギー（6.7%）は夏以降の資源価格高騰や需要回復の影響を受け、69.8%の大幅増となった。中でも、主力品目の石油精製品（5.5%）が52.7%増となったほか、液化天然ガス（LNG）の輸出や近隣国への電力融通も大幅に増加した。自動車（12.8%）は、2.0%増に留まった。半導体などの部品不足や、主力の欧州市場の需要低迷が響き、内訳として、完成車が0.9%増と横ばい、部品は5.1%増だった。

輸出を国・地域別にみると、EU（構成比61.8%）は石油精製品や新型コロナワクチン、電力の輸出拡大により22.2%増と好調だった。EU域外最大の輸出先である英国（5.9%）は9.2%増となり、2020年末のEU離脱移行期間終了前後の在庫積み増しと反動減の急変動からの落ち着きを見せた。欧州域外で最大の輸出先である米国（4.7%）は20.6%増。石油精製品や建材、風力発電機などが伸びた一方、乗用車は主力のフォードの生産が落ち込んだ。オリーブ油は、トランプ政権時に発動された追加関税（容器入りに対して25%）が3月に停止されたことにより、米国のスペインからの容器入り同

製品の輸入量が3万3,359トンと前年の2.4倍に増加した。アジア大洋州地域で最大の輸出先である中国(2.7%)は5.8%増。首位品目の豚肉が前述のとおり大幅減となったものの、銅や自動車部品、LNGなどの輸出が増加した。

■輸入は資源高とワクチン輸入で過去最高に

輸入を品目別にみると、エネルギー価格高騰の影響を大きく受け、鉱物・エネルギー(構成比13.6%)が前年比71.8%の大幅増となった。うち主要品目の原油(7.3%)とガス(2.8%)は、輸入量では前年と同水準にもかかわらず、金額ではそれぞれ58.3%、88.8%増加した。その他のほとんどの品目もエネルギー・資源高や需要回復を反映し、2桁台の伸び率となった。唯一、自動車(9.5%)は、半導体不足や先行き不透明を受け、6.3%増に留まった。うち、乗用車(3.8%)は国内市場の冷え込みを反映し、2019年の新型コロナウイルス感染拡大前を依然3割下回る水準にとどまった。

輸入を国・地域別にみると、EU(構成比49.9%)は石油精製品の大幅増や新型コロナワクチンの輸入の本格化もあり18.6%増で過去最高額だった。英国(2.5%)からの輸入は、9.5%減となった。

医薬品が57.0%減少したことと、原油も58.4%減となったことが影響した。ドイツに次いで第2位の輸入先の中国(10.2%)は、18.5%増だった。同国からの輸入は、携帯電話、ソーラーパネル、リチウムイオン電池がそれぞれ19.8%、54.5%、68.0%増加した。

■対内投資は再エネ、通信が引き続き活発

産業・商業・観光省によると、2021年の対内直接投資(届け出ベース、ネット、フロー)は前年比23.1%増の234億9,000万ユーロとなった。業種別にみると、59億3,000万ユーロを記録し、最大となっ

表1 スペインの主要品目別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年	2021年			2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
資本財(自動車を除く)	52,092	58,768	18.6	12.8	62,848	70,948	20.7	12.9
食料品	51,613	56,978	18.0	10.4	34,136	39,557	11.5	15.9
化学品	40,833	53,725	17.0	31.6	50,015	63,510	18.5	27.0
自動車	39,672	40,450	12.8	2.0	30,600	32,526	9.5	6.3
中間財	26,503	35,535	11.2	34.1	19,341	26,552	7.7	37.3
消費財	25,075	30,455	9.6	21.5	34,733	38,566	11.3	11.0
鉱物・エネルギー	12,517	21,250	6.7	69.8	27,110	46,576	13.6	71.8
原材料	6,126	8,308	2.6	35.6	8,674	12,492	3.6	44.0
耐久消費財	4,503	5,337	1.7	18.5	8,099	9,896	2.9	22.2
合計(その他を含む)	263,628	316,609	100.0	20.1	276,925	342,787	100.0	23.8

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
[出所] スペイン税関

表2 スペインの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年	2021年			2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	160,068	195,545	61.8	22.2	144,117	170,891	49.9	18.6
ユーロ圏	140,821	172,558	54.5	22.5	121,937	145,388	42.4	19.2
フランス	43,014	50,480	15.9	17.4	28,975	34,150	10.0	17.9
ドイツ	29,785	32,400	10.2	8.8	34,403	38,276	11.2	11.3
イタリア	20,691	26,567	8.4	28.4	18,026	22,619	6.6	25.5
ポルトガル	20,012	24,871	7.9	24.3	10,938	13,599	4.0	24.3
非ユーロ圏	19,247	22,988	7.3	19.4	22,180	25,503	7.4	15.0
ポーランド	6,047	7,581	2.4	25.4	5,675	6,429	1.9	13.3
英国	17,229	18,817	5.9	9.2	9,542	8,631	2.5	△ 9.5
スイス	5,111	5,740	1.8	12.3	3,880	8,558	2.5	120.6
トルコ	4,255	5,491	1.7	29.0	6,316	8,326	2.4	31.8
ロシア	1,873	2,213	0.7	18.2	2,625	6,034	1.8	129.9
アジア大洋州	19,235	21,582	6.8	12.2	48,419	57,660	16.8	19.1
中国	8,182	8,661	2.7	5.8	29,403	34,835	10.2	18.5
ASEAN	2,806	3,179	1.0	13.3	8,343	10,062	2.9	20.6
日本	2,542	2,936	0.9	15.5	2,894	2,969	0.9	2.6
韓国	1,509	1,936	0.6	28.3	2,401	2,748	0.8	14.5
インド	1,096	1,497	0.5	36.6	3,307	4,200	1.2	27.0
アフリカ	15,614	18,502	5.8	18.5	19,038	27,845	8.1	46.3
モロッコ	7,352	9,500	3.0	29.2	6,372	7,301	2.1	14.6
アルジェリア	1,917	1,888	0.6	△ 1.5	2,488	4,768	1.4	91.7
ナイジェリア	308	422	0.1	36.8	3,926	5,659	1.7	44.2
北米	14,185	16,894	5.3	19.1	15,542	19,101	5.6	22.9
米国	12,247	14,769	4.7	20.6	14,190	17,090	5.0	20.4
中南米	11,811	14,933	4.7	26.4	13,739	17,684	5.2	28.7
メキシコ	3,221	4,118	1.3	27.9	3,381	4,663	1.4	37.9
ブラジル	2,249	2,593	0.8	15.3	3,562	4,631	1.4	30.0
中東	6,700	7,554	2.4	12.8	4,794	7,393	2.2	54.2
サウジアラビア	1,738	1,907	0.6	9.7	2,271	2,974	0.9	31.0
イスラエル	1,473	1,806	0.6	22.6	649	818	0.2	26.0
アラブ首長国連邦(UAE)	1,505	1,711	0.5	13.7	304	813	0.2	167.6
合計(その他を含む)	263,628	316,609	100.0	20.1	276,925	342,787	100.0	23.8

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
②アジア大洋州はASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港・台湾を加えた合計値。
[出所] スペイン税関

た建設分野では、仏インフラ大手バンシが12月、同業ACSグループ傘下の再エネ・送電線EPC（設計・調達・建設）部門コブラISを49億ユーロで買収した。続く電力・ガス・水道・環境は52億7,200万ユーロとなり、太陽光発電（PV）投資が過去5年間で最高となった。PV開発企業への出資が引き続き活発で、カナダの年金基金が英国に保有する投資会社が6月に、PV開発大手グルポ・Tソーラーを完全買収した。中国国有電力大手の中国長江三峡集団は8月、国内の風力発電所などを買収したほか、11月にはCTGが最大株主となるポルトガル電力公社（EDP）が、スペイン国内の風力発電資産を取得すると発表した。48億7,300万ユーロを記録した運輸・通信では、米国の通信インフラ管理アメリカン・タワーが6月に、テルシウス・テレコムの子会社・中南米の基地局・通信塔の71億ユーロでの取得を発表。米投資ファンドKRRが12月に、スペイン送電管理会社（REE）傘下の通信インフラ運営会社レインテルに49%出資で合意するなど、5G本格展開への布石が加速した。

スタートアップへの投資では、ドイツの料理宅配アプリ「デリバリーヒーロー」が7月に、スペインの同業「グロボ」の経営権を握ったほか、スウェーデンの投資会社やソフトバンクの投資ファンドが12月、人材派遣アプリ「ジョブアンドタレント」に合計5億ドルの出資をすると発表した。

国・地域別では、欧州域外最大の投資国である米国が、前述の通信インフラ買収のほか、戦略的なグリーン分野での投資を加速。米国のエンジン製造カミンズが5月、電力大手イベルドロラとグリーン水素プラント向けの水電解装置の販売提携契約を締結し、工場建設に着手したと発表。2022年に入ってから、米国の太陽光追尾装置製造大手アレイ・テクノロジーが1月、同業STIノーランドを買収し、世界最大手となったと発表した。中国は、前述の再エネ関連のほか、中国遠洋開運集団（COSCO）傘下の港湾運営会社が2022年3月、港湾鉄道事業者ロジトレンの株式の過半数を取得した。

2022年第1四半期の投資額は前年同期の3倍と好調だが、ウクライナ情勢を受けた物価上昇による景気不透明感や利上げによる金融コスト上昇を背景に、今後は投資がやや鈍化するとの

表3 スペインの業種別対内・対外直接投資
＜届け出ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2020年	2021年		2020年	2021年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
建設	1,434	5,930	313.6	△ 68	△ 262	-
電力・ガス・水道・環境	188	5,272	2,701.0	4,206	3,241	△ 22.9
運輸・通信	4,548	4,873	7.1	6,512	9,255	42.1
製造業	△ 1,146	1,914	-	△ 75	2,169	-
食品	1,751	1,171	△ 33.1	△ 883	149	-
石油精製・化学・プラスチック	△ 400	504	-	1,276	819	△ 35.8
機械・自動車などその他の製造業	△ 3,668	472	-	1,539	1,181	△ 23.3
繊維・衣類	49	48	△ 1.9	△ 23	△ 3	-
製紙・出版	1,122	△ 282	-	△ 1,984	23	-
流通・小売・卸売り	4,672	1,539	△ 67.1	6,774	1,267	△ 81.3
不動産・企業向けサービス	1,697	1,334	△ 21.4	315	△ 3,649	-
金融・銀行・保険	6,462	887	△ 86.3	5,462	△ 8,496	-
ホテル・レストラン	215	313	45.5	218	147	△ 32.7
農業・牧畜業・林業・漁業	260	280	7.6	155	59	△ 61.7
鉱業	18	11	△ 41.6	2,281	△ 227	-
合計（その他含む）	19,076	23,490	23.1	25,921	3,567	△ 86.2

[出所] スペイン産業・商業・観光省

表4 スペインの国・地域別対内・対外直接投資
＜届け出ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2020年	2021年		2020年	2021年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU	5,297	11,506	117.2	13,027	4,267	-
ユーロ圏	3,644	9,856	170.5	11,807	3,425	△ 71.0
フランス	1,824	7,256	297.8	236	65	△ 72.6
ドイツ	591	761	28.7	1,435	318	△ 77.8
オランダ	△ 2	728	-	1,538	283	△ 81.6
イタリア	339	409	20.6	1,022	470	△ 54.0
非ユーロ圏	1,654	1,650	△ 0.2	1,220	842	△ 31.0
スウェーデン	1,416	1,340	△ 5.3	817	644	△ 21.1
スイス	3,784	4	△ 99.9	10	△ 4,373	-
英国	922	2,228	141.6	1,911	7,897	313.3
アジア大洋州	1,343	4,027	199.8	1,566	481	△ 69.3
オーストラリア	272	2,365	770.6	460	63	△ 86.4
日本	△ 34	1,060	-	22	31	39.8
中国	960	422	△ 56.0	1,823	1	△ 99.9
ASEAN	30	210	604.0	33	332	908.3
北米	5,482	3,628	△ 33.8	3,188	△ 5,476	-
米国	5,100	3,487	△ 31.6	3,094	△ 5,497	-
中南米	1,264	1,267	0.2	5,850	1,363	△ 76.7
メキシコ	△ 3,262	473	-	△ 54	1,201	-
ブラジル	10	△ 68	-	1,176	597	△ 49.2
アフリカ	33	193	487.6	153	△ 284	-
中東	889	172	△ 80.7	50	△ 177	-
カタール	1,204	8	△ 99.3	-	-	-
サウジアラビア	12	△ 3	-	22	△ 49	-
合計（その他含む）	19,076	23,490	23.1	25,921	3,567	△ 86.2

[注] アジア大洋州は、ASEAN + 6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港、台湾を加えた合計値。
[出所] スペイン産業・商業・観光省

見方が強い。

表5 スペインの主な対内直接投資案件 (2021年)

<M&A>							
業種	被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
通信	テルシウス・テレコム	アメリカン・タワー	米国		2021年6月	71億ユーロ	米国の通信インフラ管理大手が、テレフォニカ傘下の移動体通信インフラ会社テルシウスの保有する欧州・中南米の基地局・通信塔を取得完了。
電力	コブラIS	バンシ	フランス		2021年12月	49億ユーロ	総合インフラサービス欧州最大手が、競合ACSグループ傘下の再エネ・送電線EPCを買収完了。
再エネ	マサベウ	中国長江三峡集団	中国		2021年8月	非公表	中国国有電力大手が、スペインの投資会社マサベウとベルギーの投資会社コリスが保有する風力発電所など (合計450メガワット) を買収完了。
電力	ネクサス・エネルギー	双日	日本		2021年9月	非公表	双日が、スペインの電力・ガス小売大手の筆頭株主になったと発表。日本企業として初めてスペインの電力小売事業に参画。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

■対外投資は金融などで事業再編の動き

2021年の対外直接投資 (届け出ベース、ネット、フロー) は前年比86.2%減の35億6,700万ユーロとなった。2017年以降、市場・事業再編に伴う撤退が増加しており、2021年も200億ユーロ以上の投資引き揚げがあった。一方、グロスでは250億ユーロ近くの投資があり引き続き堅調だった。その代表例が金融大手ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行 (BBVA) で、2022年5月に戦略的市場であるトルコの傘下ガランティ銀行の株式比率を約86%まで引き上げた。業種別で最大の運輸・通信分野 (92億5,500万ユーロ) では、移動体通信基地運営セルネックス・テレコムが引き続き活発な買収を展開し、10月にフランスの同業ハイボリーを52億ユーロで買収した。医薬品分野では、積極的な買収を進める製薬グリフォルスが2022年4月に、ドイツの血漿 (けっしょう) 製剤製造ビオテストを買収した。

国・地域別にみると、迂回国を除くグロスでは欧州域外最大となった米国は、7割近くがエネルギー分野の投資だった。電力大手イベルドローラは米国の子会社アバングリッドを通じて、カナダから米北部メイン州にクリーン電力を供給する再エネ送電網の建設に1月に着工した。

表6 スペインの主な対外直接投資案件 (2021年~2022年5月)

<M&A>						
買収企業 企業名	被買収企業 (事業)			時期	投資額	概要
	業種	企業名	国籍			
セルネックス・テレコム	通信インフラ	ハイボリー	フランス	2021年10月	52億ユーロ	欧州内の基地局を積極的に買収する通信インフラ欧州最大手が、フランス同業大手を買収完了。
グリフォルス	医薬品	ビオテスト	ドイツ	2022年4月	14.53億ユーロ	血漿 (けっしょう) 製剤の大手がドイツ同業の株式69.72%と経営権を取得。買収は、中国科瑞が保有する持株の取得とTOBを通じて実施。
ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行 (BBVA)	金融	ガランティ銀行	トルコ	2022年5月	14.1億ユーロ	戦略的市場であるトルコの傘下銀行の完全子会社化を目指してTOBを実施し、株式比率を85.97%まで引き上げた。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

■対日輸出、豚肉と乗用車が2割増

スペイン税関によると、2021年の対日貿易は輸出が前年比15.5%増の29億3,600万ユーロ、輸入が2.6%増の29億6,900万ユーロとなり、対日赤字は3,300万ユーロまで縮小した。

対日輸出を品目別にみると、最大品目の豚肉 (構成比18.1%) が金額で21.0%増、数量で31.6%増と伸びた。乗用車 (10.9%) も22.0%増となり、台数でも22.2%増の1万8,679台となった。石油精製品 (10.7%) は前年比9.7倍の大幅増となった。また、自動車部品 (6.0%) が38.5%増、灰および残留物 (4.2%) が33.7%増、アルミニウム塊 (2.0%) が69.6%増となり、輸出拡大に貢献した。一方、医薬品 (2.5%) は72.2%減と低迷し、花粉症用の抗ヒスタミン薬の輸出が大幅に減少したことが一因として

指摘されている。

表7 スペインの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

対日輸入を品目別にみると、乗用車（構成比28.8%）が15.2%減、自動車部品（3.0%）が26.1%減と低調だった。一方、鉄または非合金鋼のフラットロール製品（4.0%）は10.8倍となった。これには、電気自動車

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2020年 金額	2021年 金額	2021年 構成比	2021年 伸び率		2020年 金額	2021年 金額	2021年 構成比	2021年 伸び率
豚肉	440	533	18.1	21.0	乗用車	1,006	854	28.8	△ 15.2
乗用車	261	319	10.9	22.0	自動二輪車	120	137	4.6	14.2
石油精製品	32	315	10.7	869.4	鉄または非合金鋼のフラットロール製品	11	120	4.0	979.7
自動車部品	126	175	6.0	38.5	自動車部品	120	88	3.0	△ 26.1
オリーブ油	127	129	4.4	1.7	航空機エンジン部品	62	69	2.3	12.2
灰および残留物	93	124	4.2	33.7	医療機器	62	67	2.3	8.4
ワイン	85	92	3.1	8.0	印刷機器	45	67	2.3	47.6
医薬品	264	73	2.5	△ 72.2	オートバイ・自転車部品	62	66	2.2	6.7
革製バッグ・小物類	56	72	2.4	28.5	集積回路	50	64	2.1	26.5
アルミニウム塊	35	59	2.0	69.6	医薬品	45	60	2.0	34.0
合計（その他含む）	2,542	2,936	100.0	15.5	合計（その他含む）	2,894	2,969	100.0	2.6

〔出所〕 スペイン税関

(EV) などに使われる熱間プレス鋼板が含まれる。集積回路（2.1%）が26.5%増となったほか、トランジスタ（0.4%）が90.0%増となり半導体関連製品が好調だった。その他、食料品（0.7%）では、牛肉の輸入量が初めて6トンに達したほか、ソース類やしょうゆの輸入量が2倍以上に増加した。日本酒やウイスキーの輸入額もそれぞれ86.0%増、2.5倍となった。

■日西間のエネルギー投資が活発

2021年の日本からの直接投資受入額は、引き揚げ超過の前年から転じて10億6,000万ユーロと1993年の統計開始以来、2018年に続いて2番目に大きい額となった。これは、オリックスが7月、グローバル再エネ開発・運営エラワン・エナジーの大型買収案件を完了したことによる。その他の案件では、双日が9月、電力・ガス小売大手ネクサス・エネルギーへの出資を発表し、日本企業として初めてスペインの電力小売事業に参画。日立エナジーは12月、ガス絶縁計器用変圧器メーカーのアルテチェの株式49%を取得し、合弁会社を設立することで合意したと発表した。さらに、NTTデータは9月、欧州・中東・アフリカ・中南米地域での体制強化や一体的な事業展開を目指すべく、地域統括会社をマドリードに新設した。

スペインの対日直接投資は前年比39.8%増の3,100万ユーロだった。イベルドロウラが日本での洋上風力発電事業を本格的に開始し、3月にはコスモエコパワーと日立造船が青森県で手掛ける事業への合弁参画を発表した。また、自動車部品ゲスタンプは2022年5月、2018年に開設した三重県の熱間プレス工場の拡張を行うと発表しており、長期的な投資が期待される。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：4,743万人（2022年）			
②面積：50万5,953km ²			
③1人当たりGDP：3万90米ドル （2021年）			
④実質GDP成長率（%）	2.0	△ 11.3	5.5
⑤消費者物価上昇率（%）	0.7	△ 0.3	3.1
⑥失業率（%）	14.1	15.5	14.8
⑦貿易収支（100万ユーロ）	△ 26,756	△ 9,094	△ 20,682
⑧経常収支（100万ユーロ）	26,188	9,251	11,110
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	60,944	64,168	75,724
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	2,114,281	2,234,095	2,328,402
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.8933	0.8755	0.8455

〔注〕⑦：国際収支ベース（財・サービス）、①⑦⑧⑩：暫定値
 〔出所〕①②④⑤⑥：スペイン国家統計局（INE）、③⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：スペイン銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp